平成21年度 11月補正予算案の概要

京都府



編成の基本的な考え方

当初予算及び補正予算において、「京都温め予算」として積極的な編成を行い、現在、その執行に全力を挙げて取り組んでいる11月補正予算は、依然として厳しい雇用・経済情勢を踏まえ、「年末・年度末に向けての緊急対策」を中心に予算を編成

年末・年度末に向けての緊急対策等

- ◆ 中小企業者年末・年度末乗り切り対策
- ◆ 生活・就労年末緊急ワンストップ相談窓口の設置
- 🔷 地域の雇用を支える緊急の仕事づくり対策
- ◆ 高校新卒未就職者緊急支援対策
- ◆ 低所得者等生活支援対策
- ◆ 安心・安全確保対策(新型インフルエンザ年末年始診療体制の確保等)
 - ▶ その他、この時期に予算措置を講じる必要があるもの 知事選挙、府議会議員補欠選挙費等



鄭 中小企業者年末・年度末乗り切り対策

年末-年度末中小企業緊急金融支援費

200億円

- ◎中小企業者に対する年末・年度末の緊急資金繰り支援
 - ・年末緊急資金繰り相談窓口の開設(産業21、(同)北部支援センター)
 - ・地域別融資出前相談会の実施
 - 個別事業者の実情に応じた借り換え、条件変更を金融機関へ要請

600億円の制度融資枠の拡大

小規模事業者等活性化支援事業

32百万円

◎小規模事業者や商店街等が行う、事業の活性化に繋がる 取組を支援

(補助対象者) 従業員20人(商業、サービス業は5人)以下の小規模事業者、商店街等

(補助対象事業) 小売業者や商店街等が行う特別セール ものづくり事業者が行う販売促進活動、受発注会への参加等



② 生活・就労年末緊急ワンストップ相談窓口の設置

生活・就労年末緊急ワンストップ相談窓口

2百万円

▶求職中の失業者や生活困窮者等に安心して年末を迎えてもら えるよう、緊急の相談窓口を設置

(相談内容)

- ・就労相談、就労カウンセリング、求人情報の提供等
- ・公営住宅の入居、生活保護、生活福祉資金等の生活相談の実施

(開設筒所) 京都ジョブパーク、(同) 北部サテライト等

(開設時期)平成21年12月29日、30日



地域の雇用を支える緊急の仕事づくり対策

緊急雇用対策基金

地域雇用創出型

基金を活用した緊急雇用対策事業

5億円

- ◎地域のニーズを踏まえ、早期雇用に繋がる緊急の仕事 づくり対策を実施
 - 地域のニーズに即した道路、河川、公園等の環境整備事業
 - 市町村、広域振興局が実施する地域毎の雇用創出事業等



"約1,000人"の雇用創出 (当初~11月補正で約6, OOO人の雇用創出)



高校新卒未就職者緊急支援対策

緊急雇用対策基金

高校新卒未就職者緊急支援対策

京都未来を担う人づくり推進事業

30百万円

(他に債務負担行為50百万円)

◎「高校生緊急就職支援センター」の設置(平成21年12月開設)

(事業内容) 高校新卒者で未就職の者を雇用し、就職に繋がる職業訓練を実施するとともに、

企業開拓及び企業とのマッチングを実施

(実施体制) ジョブサポーターを8名配置

高卒未就職者の短期雇用

(雇用数) 100名程度

(雇用期間) 4カ月程度

人材育成プログラムの実施

(訓練内容) ビジネスIT、医療・介護保険事務、

介護ヘルパー養成、農林業関係等

(実施機関) 民間の訓練機関等を活用

就職マッチング



低所得者等生活支援対策

年末・年度末生活福祉資金緊急貸付の実施

4億円

◎「生活福祉資金貸付制度」の貸付原資を追加し、年末·年度 末における失業者や低所得者の生活資金の需要増に対応

<制度の概要>

貸付種類	総合支援資金、教育支援資金等
貸付利率	保証人あり:無利子 保証人なし:1.5%
償還期間	最長20年



安心•安全確保対策

新型インフルエンザ対策事業

年末•年度末対策

◎年末年始診療体制確保対策事業 18百万円

新型インフルエンザの患者拡大に伴い、年末年始の診療体制を確保するため、休日診療 所等に対して、診療体制の拡充に必要な経費を助成

※府立医大病院、与謝の海病院についても、年末年始の診療体制を拡充

◎ワクチン接種助成事業 1,125百万円

妊婦や基礎疾患を有する者、小児等のワクチン優先接種対象者のうち、低所得者に対す る接種費用の助成

府民公募型安心•安全整備事業

債務負担行為850百万円

◎府民からの公募状況を踏まえ、債務負担行為を設定し、来 年度当初から切れ目なく事業を実施



補正予算の規模

一般会計 22,594百万円

11月補正後予算額 955, 237百万円

参 考 : 2012月補正後 839,997百万円